

総合的な学習の時間 小学部5・6年生（2024年度の取組）

小学部5・6年生の総合的な学習の時間では、「スイスで日本食を広めよう」をテーマに学習しました。スイスでは、Sushi や Mochi がスーパーで売られるなど、日本食が少しずつ広まっています。スイスの人にはどのような日本食が人気なのだろうかという疑問から、この学習をスタートしました。

1学期は、現地の方々にアンケート調査をしました。好きな日本食や知っている日本食、食べてみたい和菓子や具材、飲み物に入れる砂糖やミルクの有無などについて答えていただきました。約150枚の回答を集め、結果を分析して学習発表会で発表しました。



2学期には、「ウスター市の朝市に出店して日本の和菓子を販売し、日本食を広める」という目標を定めました。自分たちが広めたいものとスイス人の好みを考慮し、「抹茶カステラ」「抹茶クッキー」「こはく糖」を販売することにしました。在スイス日本国大使館の公邸料理人の方から、作り方を教わり、学校でも試作品を作り、改良を重ねました。また、商品の値段や店構えなどを目的や条件に合うように話し合って決め、商品を説明するチラシを作ったり、ドイツ語での販売の仕方を練習したりしました。



1月31日(金)、朝市の本番を迎えました。子供たちはお客さんに笑顔いっぱいであいさつや接客をしました。販売を通して、スイスの方々の温かさや日本食(人)への関心の高さを感じました。作った商品は完売。これまでの計画や準備・練習が実を結ぶ達成感のある一日となりました。

この学習を通して、国による食や好みの違い、日本食の広がりや課題などに気付くとともに、調理や販売経験を通して、予算の計算や準備など商売をする人の苦労ややりがいを知ることができました。これからも、地域の方々と共に、お互いの文化を広められる人になってほしいと願います。

